Publicity from Hiroshima Research and Engineering Office Port and Airport 広島港湾空港技術調査事務所【略称:広島技調(ひろしまぎちょう)】

広島技調じやけん!通信

2016.7 Vol.32 SUMMER

「今年度の行事予定

広島技調では、「民間技術説明会」と「実りある学舎(まなびや)」という2つの講演会を毎年開催しています。どちらも土木学会継続教育(CPD)プログラム認定の講演会であり、参加費無料でどなたでもご参加いただけます。

今年度1回目の開催が決定いたしましたのでご案内いたします。ご興味のある方はぜひご参加ください!

平成28年度 第1回 **民目技術部**唱会

「民間技術説明会」は、港湾工事等で活用が期待される新 技術の情報収集の場として定期開催しています。

今回は、『港湾施設の耐久性向上及び維持管理に関する技術』をテーマに5つの技術を紹介いただきます。

[紹介技術]

- ① 低発熱型高炉セメント
- ② けい酸塩系コンクリート含浸材「SUPER SHIELD」
- ③ GR-U(がたつき対策型グレーチングと集水桝鉄蓋)
- ④ 車両牽引式マルチチャープレーダ・水上バイク測深
- ⑤ 小型貝殻ブロック「貝藻くん」

開催日時:平成28年8月30日(火) 13:30~16:30 開催場所:中国地方整備局 港湾空港部 会議室

定 員:50名



最新の技術を、写真や動画を使って分かり やすく紹介しているため、参加いただいた みなさまからは大変好評です。

(写真は平成28年2月開催時の聴講風景)

平成28年度 第1回 臭りあるデ音(まなびり)

「実りある学舎」は、最新技術に関する情報収集や発信の場として、また、学識経験者や各分野のスペシャリストの方々から知見を学び取り、技術力の向上や効率的な事業展開につなげる場として定期開催しています。

今回は、取り上げてほしいテーマとしてご要望の多かった「港湾施設の維持管理」にスポットをあてます。その中でも特に「点検診断」に着目して、点検診断の現状や点検技術の高度化に向けた取り組みについて学びます。

〔テーマ〕港湾施設の維持管理に関する技術開発

(講師) 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 構造研究領域 構造研究グループ長 加藤 絵万 氏

開催日時:平成28年9月15日(木) 15:00~17:00 開催場所:中国地方整備局 港湾空港部 会議室

定員:40名



こちらは前回の聴講風景。 参加いただいたみなさまからは、"楽しく 分かりやすかった"という声が多数寄せら れました。

上記講演会については、冬季に第2回を開催予定です。(当事務所HPに開催案内を順次掲載いたします)

「海の女王」広島初春港!

平成28年3月、世界的にも有名な大型クルーズ客船「クイーン・エリザベス」が初めて広島港五日市埠頭に寄港しました。埠頭では歓迎セレモニーが行われるなど、その華やかさを新聞やテレビでご覧になった方も多いのではないでしょうか。

広島都市圏の物流拠点として重要な役割を担っている五日市地区は、岸壁の水深12m化をはじめとする港の整備により、10万トン超級の大型クルーズ客船も寄港できるようになりました。

また、この施設は、巨大地震に備えるための施設としても供用されています。



☆ 広島港に初寄港した豪華客船「クイーン・エリザベス」。

もしも地震が起こったら・・・?!

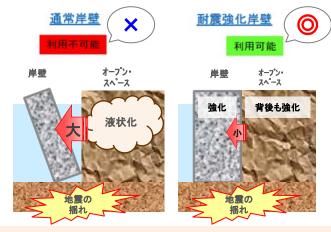
平成21年度、広島港五日市地区において、大規模 地震発生時の地域経済活動を支える物流機能の維 持と住民の避難、緊急物資輸送ルートを確保する ための「耐震強化岸壁」の整備が始まりました。

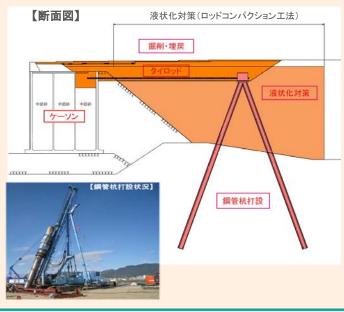
「耐震強化岸壁」とは、大規模地震が起こった際に、発災直後から緊急物資の輸送や経済活動の確保を目的とした、通常岸壁よりも耐震性を強化した係留施設のことです。東日本大震災では、緊急物資輸送のための船舶(フェリー・RO-RO船、等)が活躍しました。これにより、耐震強化岸壁の必要性が再認識されました。大型クルーズ船入港時にはにぎわい空間となる岸壁背後の緑地等もオープンスペースと一体となって、緊急物資の荷捌きや一時保管、支援部隊のベースキャンプ等のための防災拠点になります。

五日市地区の工事では、既存の岸壁を供用しながら施工を実施していく必要があったため、関係企業と調整しつつケーソン背後の液状化対策としてロッドコンパクション工法を行い、その後、控え組杭による鋼管杭を打設しタイロッドでケーソンと一体化させることにより耐震機能を確保する工法が採用されました。(平成24年3月に整備完了)

このように、中国地方整備局では、耐震強化岸壁の整備(ハード対策)と広島湾連携BCPの構築といったソフト対策を推進することにより、みなさんの生活を支える災害に強い港づくりを目指しています。

【大規模地震発生時の岸壁の挙動】





∼転入職員紹介∼



今年度より広島技調に配属となりました、入省3年目の山上雄大です。出身地は 広島県庄原市で、趣味はスポーツ(特に野球、スノーボード、ゴルフ)をすること です。

私が所属する設計グループは、主に中国管内の港湾施設の設計及び港湾関係者等に設計に関する技術的な知見の提供を行っております。今はまだ分からないことばかりですが、技調の皆さんに1日でも早く「山上は頼りになる」と思っていただけるよう日々努力していきたいと思います。よろしくお願いします。



国土交通省 中国地方整備局 広島港湾空港技術調査事務所 730-0051 広島市中区大手町3-13-18 松村ビル5F 【TEL】082-545-7015 【FAX】082-545-7019